

日本福祉リハビリテーション学院同窓会 学術局 (OT) 議事録

日時；平成 23 年 11 月 8 日 (火) 19：00～22：30 日本福祉リハビリテーション学院

参加者；小山、小川、岸、相馬、池田 (事務局)

欠席者；野畑、西窪

【議題】

1) 作業療法部門の研修会の方向性

- ・分野 (身障・精神・老年期など) を考慮しながら、症例検討会を行っていく。
- ・症例検討会は、卒業生同士がお互いに意見交換することにより卒後教育の一環になることを目的とする。そのために、3 年目くらいまでの卒業生でも発表しやすい機会を優先的に作り、3 年目以降の卒業生でも症例を通して勉強になったことなどあれば発表できるように対応していく。また、学会や研修会などの予演会の場としても利用できるようにする。
- ・症例検討会や研修会に関する意見を 1 回目の開催後にアンケートにて調査する。
- ・症例検討会の他に、研修会を開催していく。
- ・症例検討会、研修会参加者には生涯教育制度の基礎ポイントを 1 ポイント付与する。発表者はさらに 1 ポイント加算する。(事例報告は確認する)

2) 今年度の活動予定

- ・時期も考え、今年度は次年度の活動が円滑に遂行できるように会議を開催し、次年度の準備を行っていく。

3) 来年度の活動予定

① 症例発表会 (年 3 回)

- ・時間：土曜日 15：00～
- ・場所：日本福祉リハビリテーション学院か協力可能な施設
→ 恵庭は札幌から行きにくいという意見もあり検討していく
→ 研修会に利用させてもらえる施設を募集する
- ・開催予定月
第 1 回：5 月 分野を問わず募集・依頼を行う。終了後にアンケートを実施。
開校以来、学科としては初めての試みなので、1 回目は幹事の中から発表を行った方がよいのではないかということになり、幹事の方に意見を聞き、検討していく

第2回：9月 学会一月前に開催

第3回：11月

- ・1回の開催で2例以上の症例発表ができるように調整していく

② 研修会

- ・7月開催予定
- ・内容は検討中だが、坂上先生に講師を依頼し、臨床実習に関して実習指導者側と学校側の意見交換の場になるような研修を予定中。

※ 上記内容を OT 幹事に確認してもらい、再度、意見集約を行う。

4) 次回検討事項

- ・症例検討会の発表者の募集・依頼方法
- ・症例検討会や研修会に関する案内方法（HP だけでよいか？）

* 次回会議開催予定 * 1月の同窓会幹事会が始まる前の時間に行う

文責 池田（OT1期）